

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）実証実験の実施について

1 目的

本市が進めている時間外勤務縮減などの働き方改革や、「よりコンパクトな市役所」実現のための職員数の適正化などに向けて、RPA の庁内業務の効率化に対する実証実験を行い、その有効性を検証する。

2 期間 平成 30 年 5 月から 2 ヶ月程度

3 共同実施事業者

株式会社チェンジ、^{ユー・アイ・パス}UiPath株式会社

4 RPA のイメージ

別紙

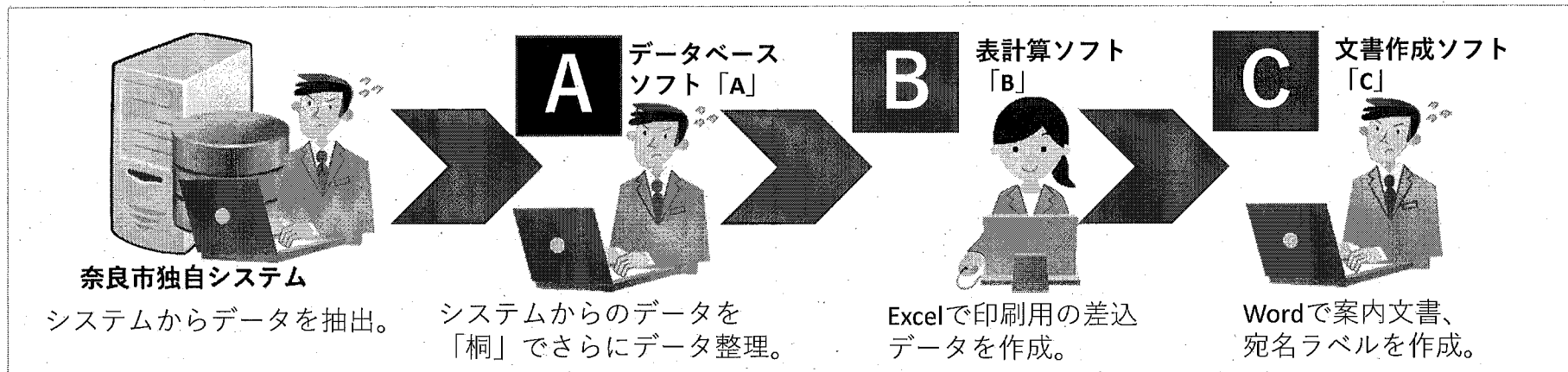
5 実証実験の内容

- ・データ入力やチェック、定期的な報告資料の作成等、RPA が対応可能な庁内業務において作業の効率性や正確性等の効果を検証し、そこで得た結果やノウハウを基に本格的な導入に向けた検討を進める。

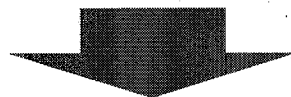
6 実証実験までの経緯、今後のスケジュールなど

- ・平成 30 年 4 月 実証実験を行う業務の選定
- ・平成 30 年 5 月 実証実験の実施
- ・平成 30 年 6 月 実証実験の課題と成果のとりまとめ
- ・今後、本実証実験の課題と成果を踏まえて、本格導入の検討を進める。

RPAによる業務の効率化



各システム・ソフト内では個別にマクロ（自動化）を組めるが、全体を自動化するシステムを構築するには多額の費用が必要となるため、人的作業が残ってしまう。



RPAの導入により、異なるシステム・ソフト間の作業を自動化。職員は別の業務に時間を充てることができ、時間外勤務の縮減による「働き方改革」につながる。

